

YOSHIKOのFASHION通信

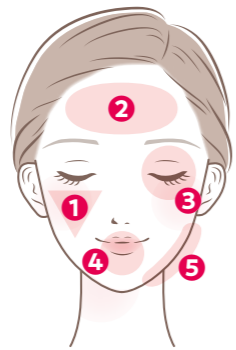
今回はメイクLESSON♪パーソナルカラー別に、左側をブルーベース、右側をイエローベースでメイクしてもらいました。そして、基本のファンデーションと眉毛の書き方を教えてもらいました。ぜひ参考にしてください。



スッカリ美人顔に/
ブルーベースが似合う



カジュアルで元気な顔に/
イエローベースが似合う



◆ファンデーションの塗布範囲と順序

- 1 頬(綺麗ゾーン)**
しっかり塗ってもOKな場所です。パウダーはスッと軽く滑らせるように、リキッドやクリームはトントンと密着させます!
- 2 額(頬の次に塗るのがおすすめ)**
瞳の外側と額の生え際、眉間までの範囲に、中心から外側に向けて楕円形を作るように塗ります。
- 3 4 目元・口元**
スポンジに残った少量を塗ります。
- 5 フェイスライン**
塗布範囲にファンデーションが密着したら、スポンジや手でそれぞれ周りをぼかしましょう。

◆崩れにくいメイクのポイント

- ☑ スキンケアでしっかり保湿!
- ☑ 崩れにくく汗に強い化粧下地を使う
- ☑ ファンデーションはスポンジを使ってしっかり密着させる
- ☑ メイク後は皮脂の多い鼻や額を中心におしろいを
- ☑ 仕上げにフィックスミストを吹いて密着させる
- ☑ 水ありパウダーファンデーションは濡らしたスポンジをかたく絞ってつける

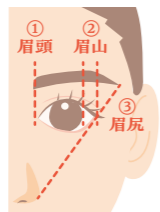
ファンデーションはトントンと軽く重ねていくと肌に密着しますよ



◆眉の描き方

基本の位置

- 1 眉頭**は目頭の真上から(やや内側・外側でもOK)
- 2 眉山**は黒目の外側から目尻の間
- 3 眉尻**は小鼻と目尻を結んだ線の先に



協力: メイクサロンkagi

@kumi.kagi



呉市安浦町へ またきんさいね♪

2023年度呉市交換学生と韓国昌原市交換学生との再会プログラム



お茶とお菓子がすごく美味しくて、勉強にもなって、すごくいい体験でした。

呉は本当にいいところです。ずっといたいです。

2024(令和6)年8月8日、安浦町へ韓国・昌原(チャンウォン)市の交換学生と2023年度に昌原市を訪れた呉市交換学生がSUP&浴衣を着てお茶会体験に来てくれました。

呉市国際交流協会の方が、呉市の交換学生に昌原市の交換学生との再会交流で何がしたい?と聞いた所、SUPがしたい♪と言ってくれたおかげで安浦町のSUPが選ばれ、さらに観光体験として浴衣でお茶会を提案した所、皆さんにもOKが出てこの交流会が開催できました。協力して下さった、まちづくり協議会有志、お茶の先生、KGSSUPメンバー、皆さまありがとうございました。笑顔の絶えない1日交流会になりました。



SUPをもう1回やりたいです。



또 와 주세요



呉市交換学生3名&昌原市交換学生5名



たんたん TANTO

No.60

発行
令和6年9月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261(年4回発行)

10/5・6日

神山神社大祭を見に行こう



10/6(日)
權伝馬 8時ごろ
出航 10時ごろ



ホーホーエンヤ
(宝 宝 栄弥)

ホーライエー
(宝 来 栄)



夢幻太鼓

明治維新以降、村の社とされた、神山神社。

今年は5日(よごろ)に境内で、和太鼓「和ロック」、「夢幻太鼓」が演奏をし、子どもたちの「太鼓体験」も盛り込みます。川尻町の駄菓子屋「大田笑会」さんや呉広域商工会安浦支所青年部、三津口若衆なども出店準備中です。

6日は早朝から、鬼獅子を先頭に、櫓太鼓、傘鉾、神楽、笛、鼓、太鼓、神主、世話役、随兵が町を練り歩き、実成新開と185号線の船どまりから船に乗り込みます。大勢の見物人の見る中、鬼に海水をかけられながら2隻の權伝馬の上でしなやかに舞踊り勇ましい掛け声と太鼓に合わせて競います。御座船を先頭に三津口湾を三周し祇園神社で陸に上がります。広島国際大学の橋本清勇先生にご協力いただき、今年はドローン撮影などにチャレンジします。

夕方の神輿の宮入りは見ものです。宮入りさせまいとする鬼達とのみみ合いは、豪快そのもの。観客は固唾を呑み見守っています。

どの地区でも祭りの行事は縮小しています。安浦町も小学校が合併したので、地域を超えて安浦小学校に子どもたちの参加を呼びかけ、祭りの楽しさと伝承の輪を広げています。

6月に行われていた柏島大祭は宮島・大三島と並んで瀬戸内三大管絃祭と言われ盛大でした。近年は安浦小学校の児童たちにも参拝を楽しんでもらいましたが、2018年の西日本豪雨災害で社務所・棧橋が被害を受け、今年は事前に草刈・整備を行い神事のみになりました。神山神社の屋根の修繕、權伝馬の老朽化など問題は山積みですが、たくさんの方たちに見て、参加していただき、地域の宝を後世に残していきたいと願っています。

和太鼓体験もやりましょ

和太鼓 奉納演奏

令和6年10月5日[土]
体験会 / 18.30~19.00.
奉納演奏 / 19.00~19.30.
場所 / 神山神社



連載「やすうら記憶遺産」とは？

安浦町の風物を描き残した画家・山本譲(1904-1994)の400枚にのぼる絵を通して、明治から昭和に至る安浦町の歴史や記憶を掘り起こし、絵の中の人々の暮らしを後世に伝えていく取り組みです。

まちづくり広報誌「TANTO」紙上で2016(平成28)年No.28/9月号から連載を始め、今回で33回目のお話となります。

土地の名所・旧跡・名勝を自由に旅する楽しみは素晴らしいものです。国立公園法など、自然や文化を守る取り組みがあります。一方、かつてのレジャーブーム、リゾートブームなどを経て、現在では外国人客を念頭にしたインバウンドブームなど、観光や余暇で訪れる土地、またその意味内容も変わりつつあります。土地の固有性を学び愛でる観光から、人工的なテーマ、オリジナルのコンテンツを消費する観光スタイルが人気を呼んでいます。

戦後のリゾートブームの中、1985(昭和60)年にオープンしたグリーンピア安浦は、沖ノ手地区と呼ばれる海沿いの土地を大規模に買収し開発された施設でした。もともとこの一帯は、古代の海上の道、平家の落人伝説などが数多く残る土地でした。海には柏島、馬島、横島などが浮かぶ光景を見ることができ、歌人・西行が海上に停泊し歌を詠んだことも知られています。大規模開発の前、山本譲は1979(昭和54)年にこの絵を描きました。のちにグリーンピア安浦が運営するオレンジビーチと呼ばれる海水浴場となった場所です。古い時代から大泊と呼ばれた遠浅の穏やかな海辺です。

今、持続可能な社会構築が叫ばれています。観光の分野ではエコツーリズムやグリーンツーリズムといった方法が生まれています。大規模な地域開発の時代が終焉した今、かつてあった場所、土地そのものの固有の歴史、自然観を今一度振り返るチャンスが来ているのかもしれません。

やすうら再発見 散策のすすめ ◆ 藪ヶ崎 四条が池(安登)

昔、現在の安登地区と中切地区の間(藪ヶ崎)は、少し高く水をせき止めるようになっており、安登駅周辺一帯の低い地域は大きな沼地になっていました。

この沼地は、跡条地区の上条、中条、岡谷地区の下条、奥条の四つの地区から水が流れ込んでいたので、四条ヶ池と呼ばれていました。

今の小田野原付近が開拓され、小さいながら見渡すかぎり田畑が続いていましたが、上の山が洪水のため押し流され、一夜のうちに土砂におおわれ、多くの田畑や家々も消え失せてしまいました。流された土砂は、大坪谷(浄念寺裏の谷)を埋め尽くし、四条ヶ池の湖水まで達し大半を埋めつくしてしまいました。湖水は泥沼地になり、田畑を広げていくのも困難な状況になりました。そこで、安登村の人々は、中切村との境、藪ヶ崎を掘り切る工事をおこない、少しずつ沼地から水を抜いていきました。

それからそれぞれの地区から干拓して田畑を造り耕作地を広げていき、現在に至っています。

中切境に立つと大量の土砂を取り除く大変な工事であったことが伺われます。

今では、小田野原(こたんはら)、掘り切った水を流したので、堀河(ほりこう)という地名だけが残っています。(今は亡き古老から聞いた話です)



大坪谷から小田野原



安登から中切境方面



中切境

毎年恒例 さいさい来ん彩女子畑

季節を彩る女子畑の魅力に注目！！



広島県里山の魅力づくり「ひろしま里山グッドアワード」2023年度未来のたね賞(優秀賞)で表彰

女子畑やぎ牧場

ヤギの販売やレンタル、イベント、出張などの事業、ボランティアチームを組んで幼稚園・保育所・小学校へヤギたちを連れて行き、ヤギの出産動画の上映、子ヤギの抱っこや聴診器を使って心音を聞き「いのちのおはなし」をするなどの情操教育をしてきました。これは、広島県里山の魅力づくりプロジェクト「ひろしま里山グッドアワード」で2023年度未来のたね賞(優秀賞)で表彰されました。

今年度から牧場の新たな仲間としてヒツジが加わり、活動もさらにバージョンアップ！安浦町まちづくり協議会、女子畑の地域活性化プロジェクトチームにご協力いただき、5月には安浦小学校の1年生に女子畑に来てもらい、ヒツジの毛刈りを行いました。「ふわふわ！」「モフモフ！」「あったかい！」「かわいい♡」夏本番の暑さを迎える前に、無事に衣替えを済ませました。ヒツジたちとのふれあいから、「また行きたい」「大人になって帰ってきても行きたい」ふるさとの記憶として、女子畑での体験が子どもたちの中に残ってくれたら嬉しいなと思っています。



■ 野路東小学校体育館



■ ヒツジの毛刈り



■ ヤギさんヒツジさんとのふれあい

くらちゃんファーム、本気の芋掘り大会(10月末~11月初予定)

毎年、倉本玲子さんが長年の研究と実践を重ね育てたサツマイモ畑で行われます。

昨年はシルクスイート、紅はるか、安納芋の3種を掘りその重量を競いました。

掘進めていくと現れる大きなサツマイモに子どもたちは大興奮！大人も徐々に触れる土の感触に心があたたまりほっこり♪もみ殻の燻炭で作るこだわりの焼き芋は、ほくほく甘くて、これまたほっこり♪

ご近所や地域活性化プロジェクトチームの協力も得て、年々バージョンアップを重ねながら、今年の秋も芋掘り大会の開催を予定しています。畑での感動体験に笑顔いっぱいの参加者の様子に、地元女子畑の人たちもたくさん元気をもらっています。

魅力いっぱいの女子畑にさいさい来ん彩！待っています。



■ 家族づれで参加



■ 女子畑地域活性化プロジェクトチーム



■ 大きい！！



HPIはこちら



インスタはこちら